

診療内容説明書兼同意書

★ 複写を患者様へお渡し下さい

2014年08月29日

仙台市立病院

説明医師 外科

南池 寛

立会人

熊谷 恵里香 (看護師)

食道癌 (癌肉腫)

食道 (胸部下部～腹部) に病変が存在します。

リンパ節転移は有ると判断されます。

遠隔臓器への転移は認められません。

深2 1 ② ③ 4
リンパ節転移 ① ②
遠隔転移 ① ②
進行度 1 2 ③ 4

食道癌手術 全身麻酔＋硬膜外麻酔 2014年9月1日 (12～14時間)

胸腹部食道および胃の一部を切除します。消化管再建は、胃を筒状にして食道があった場所に挙上して頸部で残存食道と吻合します。本来の胃としての働きはなくなります。

併せて縦隔および腹部のリンパ節を切除します。

食道を切除した後は胆嚢炎を起こすことがあるので、胆嚢も切除する可能性があります。

術中の肺の状況により、肺の切除を行う可能性があります。

術後の栄養のために、空腸瘻を作ります。

術後はICUに入室して呼吸管理を行います。

手術の効果と限界

効果: 癌病巣の切除。リンパ節郭清。

限界: どのようなステージ (病期) の癌であっても、再発の可能性があります。

治療を行わない場合

腫瘍が増大し食道閉塞・周囲臓器への浸潤を来します。

また遠隔転移の可能性が高くなります。

余命が短くなる可能性が高くなります。

食道癌に対する治療方法

食道癌治療は手術以外に放射線化学療法があります。

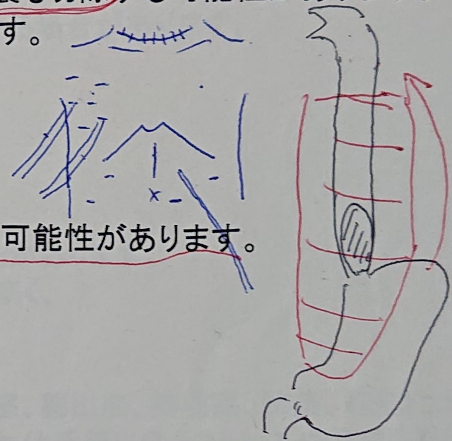
手術療法; 身体への侵襲が大きい。体の構造が変わる。食べ方を変える必要がある。

術後、化学療法もしくは放射線化学療法を行う場合もあります。

放射線化学療法; 治療に長い時間がかかる。体の構造は変わらない。

再発した際の治療は手術ですが合併症のリスクが高くなる。

庄司様の食道癌は、稀な組織型なので、これまでの治療データが少ないです。



仙台市立病院 院長 宛

平成 26 年 8 月 29 日

私は、上記の通り現在の症状、医療処置の必要性、その効果と限界、付随する合併症と危険性、その他の医療処置の選択の可能性について、十分な説明を受け、理解いたしましたので、その実施に同意いたします。なお、診療行為実施中に緊急の処置を行う必要が生じた場合には、必要な処置がなされることについても同意いたします。※この同意書については、短期滞在手術等同意書も兼ねるものとします。

同意者氏名

(患者との続

※小児等の